

登録コード	E8469400	開講年度	2026					
授業科目	卒業研究				担当教員	竹下 欣宏		
英文授業名	Graduation Study				副担当			
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	4年生
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】			
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				地質学の専門知識について、適切に情報を読み解き、的確な情報を発信することができるようになる（情報化社会において何が正しく、何が間違っているのかを自分で判断することができるようになる）。			
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				野外調査および室内分析に基づく地質学的研究を行う上で必要な専門知識・技能を備え、それらに応用できるようになる。授業の講義・演習・実験で学んだ知識技能を駆使して、研究活動を自分の力で実施し、その過程で研究の方法やまとめ方を学び、実践できるようになる。			
(2)授業で学べる「テーマ」	防災減災							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	地質学に関する研究テーマを決め、自分の力で研究活動に取り組み、創造活動とはいかなるものかを学ぶ。							
(5)授業計画	1：テーマの選定（4月上旬に2回実施） 2：調査の事前準備（文献調査について）（4月上旬～中旬に1回実施） 3：調査の事前準備（地形図や空中写真、地質図について）（4月上旬～中旬に1回実施） 4：野外調査のための巡検（調査地域の地質概要の理解）（4月中旬～下旬に2回実施） 5：野外調査（露頭探査について）（5月上旬～6月上旬に3回実施） 6：野外調査（露頭の記載）（6月中旬～7月上旬に3回実施） 7：野外調査（柱状図，ルートマップの作成）（7月中旬～7月下旬に3回実施） 8：野外調査（試料採取・写真撮影）（8月上旬～9月上旬に3回実施） 9：室内分析（火山灰のプレパラート作成，顕微鏡観察）（10月上旬に2回実施） 10：室内分析（岩石薄片の作成と顕微鏡観察）（10月中旬に3回実施） 11：調査・分析のまとめ（図，表の作成について）（11月下旬に2回実施） 12：卒業論文の執筆について（12月上旬に1回実施） 13：成果発表にむけて（プレゼンテーションの練習）（2月上旬に2回実施） 14：卒業研究発表（2月中旬に1回実施）（授業アンケート（15分程度）含む） 上記の計画は一例であり、テーマによって多少内容が異なる。							
(6)成績評価の方法	研究活動への取り組み方（50％）と研究成果（卒業論文と発表：50％）により、野外調査および室内分析に基づく地質学的研究を行う上で必要な専門知識・技能が身に付いたかを測り、それらに基づいて総合的に評価する。6割以上を合格とする。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀、89-80％ 優、79-70％ 良、69-60％ 可、59％以下 不可。							
(7)成績評価の基準	1．卒業研究の内容を理解できており、2．引用が正しくできており、3．記載が正確で、記載に基づいた考察が展開されており、4．既存の研究の中に自分の研究を的確に位置づけており、5．その上で教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。1．から5．の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。							
(8)事前事後学習の内容	各自で設定した卒業研究の内容に関して、学術論文や専門書を参考に予習すること。卒業研究の内容（目的、記載と結果、考察）を卒業研究論文としてとしてまとめること。 この授業は225時間の学修を必要とする内容です。したがって、150時間以上の時間外学習が必要となります。							
(9)履修上の注意	野外調査など、ある時期しか行えない活動も含まれるので、計画性をもって進めること。 野外調査に出かける際は、必ずその旨を連絡すること。 野外調査や調査地域までの往復など、危険をともなうこともあるため、安全に十分配慮すること。 野外活動は危険を伴うため、学生教育研究災害傷害保険（学研災）に加入してください。							
(10)質問，相談への対応及び連絡先	研究室：W407、日時：随時（ただし事前連絡があると良い）、連絡先 内線：4121 メール：takey@shinshu-u.ac.jp							
【教科書】	特に指定しない							
【参考文献】	特になし 学術論文などは適宜紹介する。							